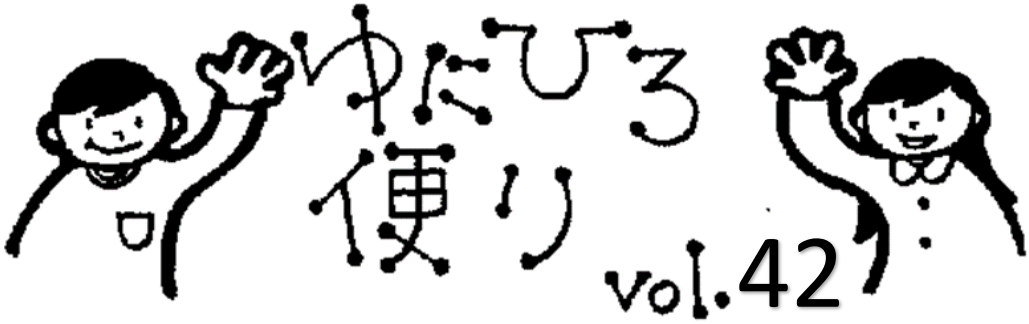

2025年4月1日発行

発　行　者
広島県ユニセフ協会
〒730-0802
広島市中区本川町2-6-11
第７ウエノヤビル５Ｆ
ＴＥＬ：082-231-8855
ＦＡＸ：082-231-8855

ユニセフ活動レポート

日本ユニセフ協会70周年

【ユニセフと日本】
　ユニセフは第2次世界大戦後に戦争で厳しい状況に置かれた子どもたちを支援するために1946年に誕生しました。
　日本も子どもたちの栄養状態をよくするための脱脂粉乳（粉ミルク）や医薬品、他にも洋服を作る原綿などの支援を受けました。この支援は1949年から1964年まで続き、他にも伊勢湾台風や東日本大震災でも支援を受けました。

【ユニセフと日本ユニセフ協会】
　ユニセフは子どもたちの命と健康を守るために活動する国連の機関です。公益財団法人日本ユニセフ協会はユニセフとの協力協定に基づき、日本国内で募金活動、広報活動、子どもの権利の実現を目的としたアドボカシー活動を行っています。日本ユニセフ協会は、ユニセフの公式な窓口となる世界の32の国と地域にあるユニセフ協会のひとつで、1955年に財団法人として設立され今年で70周年を迎えました。（2011年からは公益財団法人日本ユニセフ協会）

【日本ユニセフ協会の活動】
◇募金
ユニセフの支援を受けた日本の子どもたちが1956年に始めた「学校募金」、毎年恒例のハンド・イン・ハンド募金、毎月定額の募金「ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム」や遺産寄付プログラム、外国コイン募金、紛争や予期せぬ自然災害発生時の緊急支援募金などに取り組んでいます。
◇広報
世界で起こる危機やユニセフの支援をいち早く伝えるプレリリース、WEBや出版物による広報、世界の子どもたちの現状を把握するための子供白書の出版など、ユニセフの活動の理解を広げるための広報活動に取り組んでいます。また、国内活動の特徴の一つとして出前授業なども行っています。
◇啓発・アドボカシー
「子どもの権利条約」の普及と実施や、子どもの課題に焦点をあてたSDGs（持続可能な開発目標）の推進ほか、「子どもにやさしいまちづくり」、「子どもの権利を大切にする教育」など様々な活動をしています。

広島県ユニセフ協会は日本ユニセフ協会と協力協定を結び広島県で活動をしています。

ユニセフに寄せて

ユニセフ賛助会員として日本ユニセフ協会の活動にご支援いただいている団体会員様からのメッセージのコーナーです。世界の子どもたちへの思いを寄せていただきました。

株式会社大野石油店　代表取締役副社長　大野　貴嗣　様

広島から世界の子どもたちのために

　広島の地で育まれ、地域の皆さまに支えられてきた企業として、私たちにできる地域社会への恩返しを大切にしています。特に、未来を担う子どもたちの健やかな成長は、私自身、二児の父としても強く願うことです。
　その想いから、広島県ユニセフ協会の活動に賛同し、団体賛助会員として参画させていただいております。子どもたちが夢に向かって安心して学び、健やかに育つ社会の実現は、企業の枠を超えた私たち大人の責務だと考えています。
　これからも未来を担う子どもたちのために今できることを弊社としても協力させていただき、ユニセフ活動の輪がここ広島から世界に向けて広がっていくことを願っております。

　ユニセフ賛助会員とは、募金とは違った形でユニセフを支援する方法です。日本ユニセフ協会及び地域組織は賛助会員の皆様からの会費で運営されています。
　広島県ユニセフ協会も皆様からの会費の50%で運営されています。
　どうぞ、日本ユニセフ協会の賛助会員として広島県ユニセフ協会を応援してください。

イベント報告　2024/4ー2024/9

国際フェスタ2024

11月24日（日）、第25回「国際フェスタ」に出展しました。ユニセフすごろくや釣りゲームでは、子どもたちが楽しみながら世界の子どもたちのことやユニセフの支援物資について学び、侵攻から1年後のウクライナやパレスチナ・ガザ地区の子どもたちの様子を伝えるパネルを見ていただきました。

「世界のコインプロジェクト」では、毎年外国コインと紙幣を持参される方もおられ、世界の子どもたちを支援する活動として第1回から続けています。

ハンド・イン・ハンド募金

12月7日（土）広島市4ヶ所、12月15日（日）福山市で「ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金」を行いました。

46回目の今年は「子どもたちの健やかな成長を守ろう」をテーマに年末の街で募金を呼びかけました。

高校生や大学生の若い皆さんの声かけでたくさんの募金のご協力をいただくことができました。ボランティアさんの「募金活動をしている人の気持ちがよくわかった」という感想に寒い中でも温かい活動になりました。

ユニセフ上映会

12月21日（土）広島市映像文化ライブラリーで「ユニセフ上映会を開催、「マザーテレサとその世界」「ユニセフと地球のともだち」を81名の方々に鑑賞いただきました。

12月17日（火）から同時開催していたパネル展では、ウクライナやガザの厳しい状況で暮らす子どもたちの様子と、その子どもたちを支援するユニセフの活動を知っていただくことができました。

寒い中ご来場くださった皆さま、ありがとうございました！

広島市立己斐小学校出前授業

12月16日（月）6年生3クラスで各クラス1名の講師が担当し、「逃げる！もし難民になったら？」のワークショップを行いました。

自分の身の回りで紛争が起きて、他の国へ逃げなくてはならなくなった時、自分たちは何を持って逃げるのか、どんなことが起きるのか、動画をみて、シミュレーションをして、何が本当に必要なのかをグループで真剣に話しあいました。

「ペットは連れていけるかな？」「食べ物って、傷まないかな？」様々な声を聴き、素直に自分事として考えている姿に私たち講師も学ぶ、貴重な時間でした。

YMCA保育園出前授業

12月18日（水）広島YMCA保育園で手洗い指導に出かけました。３歳から５歳の６０人が、ダンスや腹話術を通じて、手洗いの大切さを学びました。

子どもたちは元気いっぱいに手洗いダンスを楽しみ、お人形のケンちゃんの話に目を輝かせて聞いてくれました。また水がめを運んで、水道のない地域で子どもたちの仕事となっている水くみもちょっとだけ体験することができました。

ノートルダム清心中学校出前授業

１月９日（木）16日（木）１年生のクラスを２回に分け、それぞれ88人で「もし世界が100人の村だったら」のワークショップを実施しました。

「高齢化や若年化の地域」や「栄養不足人口の分布」「世界の富の分布」など、世界の人口を88人で分担し会場全体を使って表現することで「私たちの世界のこと」をより身近に感じてもらえたのではないかと思います。そして「今の世界のこと、世界の人々のことを、これからもずっと考えていってください」と呼びかけました。

わ・輪

公益財団法人 日本ユニセフ協会
団体・企業事業部　マネージャー　石尾 匠さん

ユニセフに関わることになった きっかけ・国際支援への思い

みなさんはいつユニセフという組織を知りましたか？私にとって最初のユニセフとの出会いは、小学生の時に見たユニセフの公共CMでした。当時、アフリカ北東部では干ばつによる飢餓が起こっていて、CMで同じ年くらいの子どもが栄養不良でやせ細り、涙を流している姿を見て、とてもショックを受けたのを覚えています。この頃から漠然と「国際協力」について意識するようになり、将来は海外で国際支援とかかわる職業につきたいと思うようになっていきました。

大学卒業後は大学院と公的機関勤務を経て、青年海外協力隊に応募し、ついにインドネシアへの派遣が叶いました。環境問題が深刻なジャワ中部の自治体に配属になりましたが、廃棄物を減らすための啓発・教育活動を小学校やコミュニティの女性組織の方々に対して実施をする中、社会を変えていくのに大きな役割を果たすのはこういった子どもたちや女性だなと実感することが何度もありました。

女性と子どもに関わる国際協力を日本でできないかと考え始めていた時、ちょうど職員募集をしていた日本ユニセフ協会に縁があって就職することができました。日本にいると、「国際協力をしたいけれども、何をしたらよいかわからない」という方と多く出会います。日本ユニセフ協会での業務は、まさにこのような方々と世界の子どもや女性をつなぐ役割を果たしていて、これまでの経験が全てつながったように思いました。私がいる部署では支援企業・団体の方を実際に開発途上国へお連れして、現場でどのように募金が役立てられているかを実感していただくスタディツアーも実施しています。参加者の方から「ユニセフを支援していてよかった」と言っていただく時に、とても大きなやりがいを感じます。

私が小学生の頃に出会ったユニセフの公共CMのように、日本ユニセフ協会や広島県ユニセフ協会の活動や情報に触れることで、みなさんが少しでも世界の子どもたちの現状に関心を持ち、自分にできる何かを考えるきっかけとなるよう、今後も頑張っていきたいと思っています。

もっと知りたい ～ 子どもの権利条約　第31条

～～～

広島県ユニセフ協会ニュース＆お願い

ユニセフ夏のパネル展

「潮とともに生きる
　～アグネス大使とみたキリバス、気候変動の現状～」

太平洋に浮かぶ33の珊瑚礁でできた島からなるキリバス、人々は満ちては引く海とともに穏やかに生きています。

ユニセフ・アジア親善大使のアグネス・チャンさんが2024年に訪れたキリバスの現状を紹介するパネル展です。

8月16日（土）～29日（金）　9:30～22:00　（月曜休館日）
合人社ウェンディひと・まちプラザ南棟1Fロビー

同時開催
・パネル展示「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」
・ユニセフ支援物資・ユニセフ資料の展示

ユニセフ講演会

7月19日（土）14:00～15:30
「子どもの権利はなぜ大切？子どもの声を聴くということ」
講師：元日本ユニセフ協会職員 甲斐田万智子さん
詳しくは後日ホームページやFacebookでお知らせします。

ユニセフ講座

9月27日（土）
地球市民共育塾ひろしまとの共催でユニセフ講座を開催します。
詳しくは後日ホームページやFacebookでお知らせします。

簡単に始められる国際協力①
～ユニセフ賛助会員募集～

ユニセフ賛助会員のお申し込み方法は広島県ユニセフ協会事務局にお問い合わせください。
または下記のQRコードから日本ユニセフ協会のサイトをご覧ください。

広島県内の団体賛助会員
生活協同組合ひろしま
広島県生活協同組合連合会
広島県農業協同組合中央会
（一社）広島県医師会
広島信用金庫
（株）広島銀行
マツダ（株）
中央労働金庫
（株）大野石油店
ウエノヤビル（株）
田中電機工業（株）
（2024年12月末現在）

イベント出展

2025ひろしまフラワーフェスティバル

5月3日(土)から5日（月）まで広島市の平和記念公園、平和大通り一帯を主会場にフラワーフェスティバルが開催されます。

福山ばら祭2025

5月17日（土）18日（日）福山市の花園公園（福山市花園町2丁目7－1）でばら祭りが開催されます。

広島県ユニセフ協会も国際ひろばに支援物資やポスターの展示、活動報告やユニセフすごろくなどで出展します。

!!ユニセフの活動を楽しく伝えるボランティアを募集しています!!

ボランティア募集！
世界の子どもたちのために活動しませんか？

ユニセフは世界の190の国と地域で、子どもたちの命や健康を守るために活動する国連の機関です。広島県ユニセフ協会は、協力協定にもとづき国連のユニセフを支援している日本ユニセフ協会に協力して、募金活動やユニセフの活動を知らせるための写真展、学習会などを開いています。世界の子どもたちのために私たちと一緒に活動してみませんか？

簡単に始められる国際協力②
～募金協力のお願い～

皆様から寄せられる募金は、日本ユニセフ協会からユニセフ本部へ届けられ、現地のユニセフ事務所を通じて開発途上国の子どもと女性たちへの支援に使われます。
どうぞ募金にご協力ください。

緊急・復興支援募金として、
・ガザ人道危機
・ウクライナ
・シリア
・ロヒンギャ難民、
・自然災害、
・アフリカ栄養危機、
・人道危機、
も受け付けています。

ユニセフ募金の方法はこちらのQRコードでお確かめください。

※日本ユニセフ協会への募金は寄付金控除の対象となります。
※団体や企業で募金に取り組まれる場合、ユニセフの募金箱をお貸しすることができます。
※詳細は広島県ユニセフ協会にお問い合わせください。

＊お問い合わせ・お申し込み先＊

広島県ユニセフ協会
〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル5F
TEL＆FAX：082－231－8855
MAIL：unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp
ホームページ：www.unicef-hiroshima.jp
Facebook：www.facebook.com/hiroshimaunicef/

事務所開所日と時間
開所：月～金　10時～16時
＊出前授業、イベント、会議等で不在にすることがあります。来所の際は、事前にご連絡いただきますようお願いします。

ボランティア短信

出前授業を行って、栄養治療食の500キロカロリーに「ヤバイー」と声を上げる女子高生、日本が支援を受けた脱脂粉乳を懐かしがっていらっしゃる高齢者。いずれにしても、真剣に話を聞き、時には眼を潤ませる女性もあります。こうした授業に、私は心の中で「やったぁ」と叫びます。ワィワィと明るい授業の中でも、世界の子どもたちの貧困・飢餓・児童労働などの厳しい現実が伝わっていくのが、私のボランティア活動の希望です。（T.H）